

北千葉道路について

【資料】

- ・ 第 8 回北千葉道路連絡調整会議で合意した計画の考え方について
..... 1 ページ

【参考資料】

- ・ 北千葉道路だより（第 5 号）..... 2 ページ
- ・ 北千葉道路だより（第 6 号）..... 4 ページ

<注意>

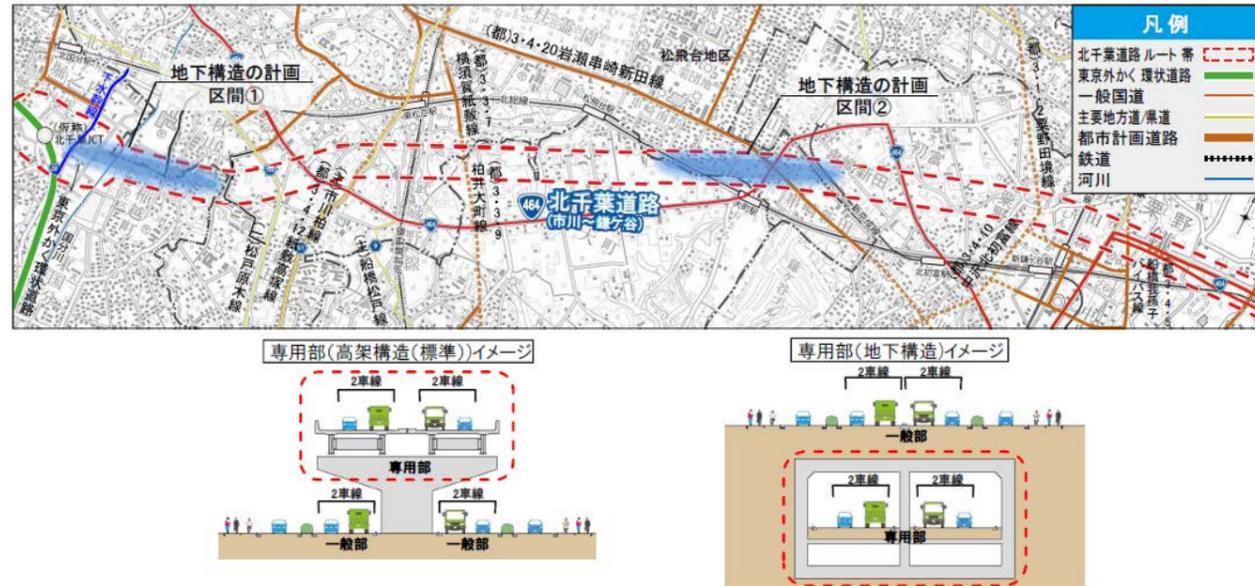
この資料は、都市計画審議会の報告資料であり、
今後変更が生じる可能性があります。

平成 31 年 2 月 4 日
交通計画課

第8回北千葉道路連絡調整会議で合意した計画の考え方について

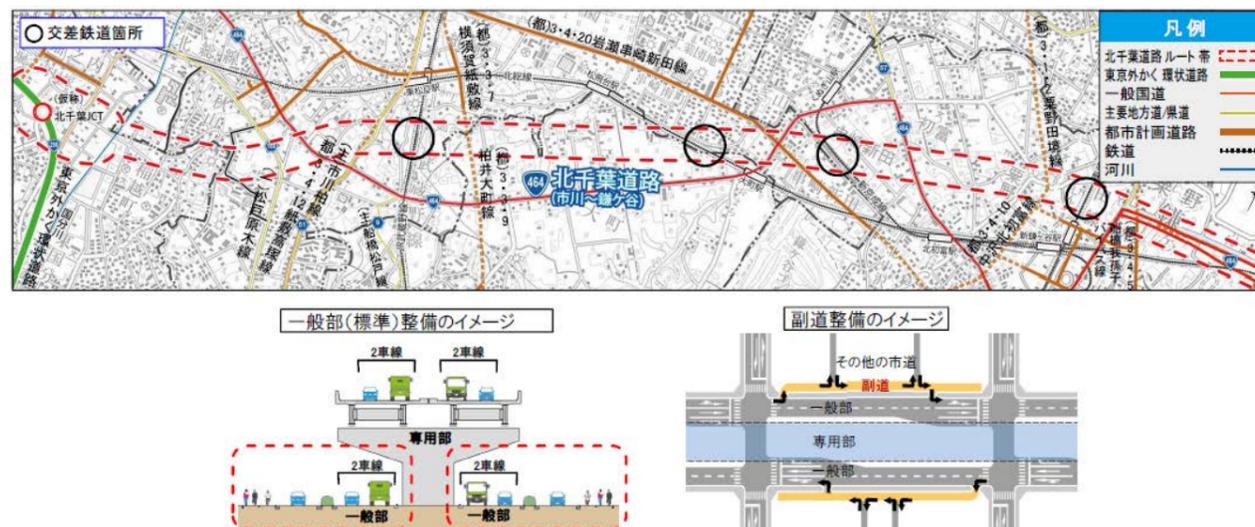
① 専用部の基本構造【外環～鎌ヶ谷】

- 多くの一般道や鉄道と交差することや、北千葉道路の重要性等を踏まえ、早期整備を目指すことなどから、高架構造を基本に計画する。
- 但し、外環から県道松戸原木線までの間（約 2km）【区間①】、北総線交差部の松飛台地区（約 2km）【区間②】は、地下構造を基本に計画する。



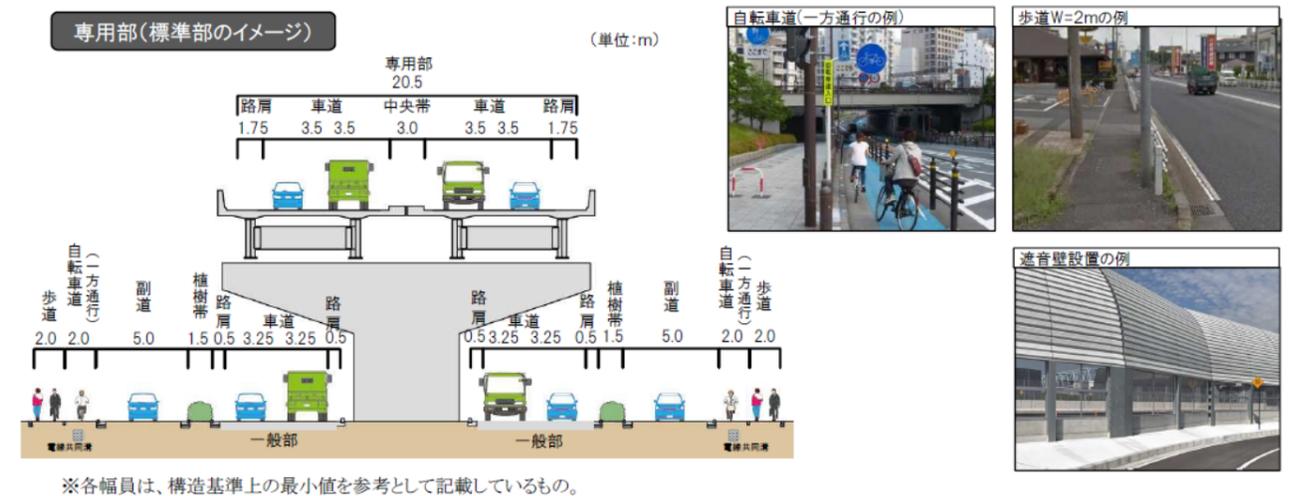
② 一般部の基本構造【外環～鎌ヶ谷】

- 一般部の走行性・安全性の確保や、最適な道路ネットワークを形成するため、地表式を基本とする。
- 地域の幹線交通を担う路線は、交差点により一般部に接続し、沿線地域の生活道路となっている路線は、副道を介して一般部に接続する。
- 鉄道との交差箇所は、立体交差（高架又は地下構造）とする。



③ 横断構成【外環～鎌ヶ谷】

- 中央に専用部、両側に一般部を配置することを基本とし、必要な用地をできる限り小さくするよう計画する。
- 一般部の外側に、植樹帯、副道、自転車道、歩道、電線共同溝を基本とし、必要のないところには設置しない。
- 自転車道は、道路の両側に一方通行の形態を基本とする。
- 歩行者等の横断は、交差点での平面横断（横断歩道）を基本とし、必要に応じて、立体横断施設を計画する。
- 沿道環境を保全するため、必要に応じて、遮音壁や環境施設帯を計画する。



④ 連結位置・構造【外環～国道16号】

- 連結位置・構造については、接続する外環の連結位置間隔が 3～4km のハーフ IC 構造であること等を踏まえつつ、最適な道路ネットワークの形成や構造基準、安全性、周辺土地利用状況や料金収入と償還計画等を総合的に勘案して計画する。



⑤ 接続路線【外環～鎌ヶ谷】

- 一般部と交差点を形成、あるいは副道に接続する既存路線・計画路線は、一般部及び接続路線における走行性や安全性の確保等の観点から、必要に応じて、線形や幅員等の見直しを行う。

北千葉道路(市川市から船橋市間)について、現在の検討状況をお知らせします

北千葉道路の現在の検討状況は？

■北千葉道路の外環(市川市)から国道16号(船橋市)間の現在の検討状況

- 平成30年11月5日に第8回北千葉道路連絡調整会議※を開催し、北千葉道路(外環から国道16号間)について、計画の考え方(専用部・一般部の基本構造、横断構成、連結位置・構造等)を検討しました。
- 今後、計画の具体化を図り、広報紙の発行やオープンハウスの開催などにより、引き続き、住民の皆さまへ検討状況をお知らせするとともに、ご意見を伺っていきます。
- 主な検討内容は、以下のとおりです。

※北千葉道路連絡調整会議：国・県・沿線市で構成され、北千葉道路の計画策定に向けて、検討・協議・調整を実施。

■専用部(自動車専用道路)の基本構造

- 外環から鎌ヶ谷市間の約9kmについて(整備イメージ①)
 - 多くの一般道や鉄道と交差することや、北千葉道路の重要性等を踏まえ、早期整備を目指すことなどから、高架構造を基本とする。
 - 但し、外環から県道松戸原木線までの間(約2km)、北総線交差部の松戸市松飛台地区(約2km)は地下構造を基本とする。
- 鎌ヶ谷市から国道16号間の約6kmについて(整備イメージ②)
 - 整備済みの一般部の掘割構造内(北総線の両側)に設置する。

■一般部(一般国道)の基本構造

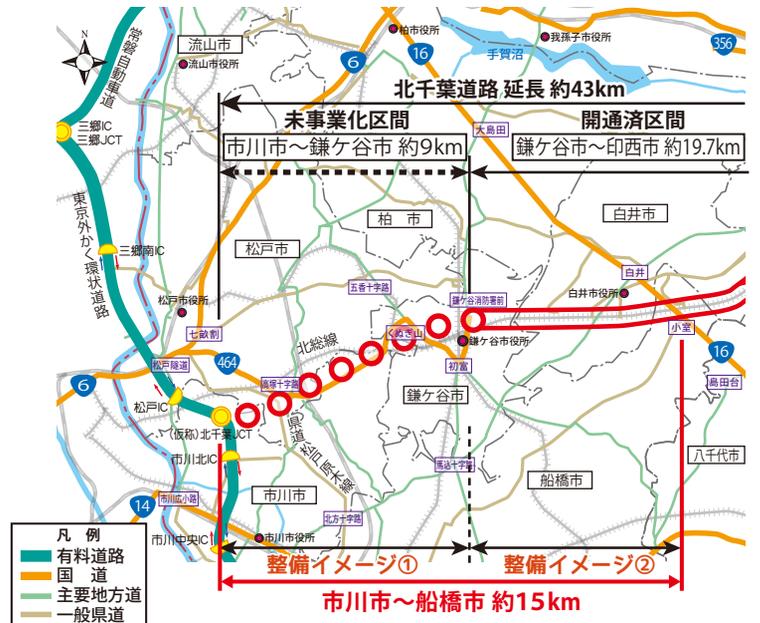
- 外環から鎌ヶ谷市間の約9kmについて(整備イメージ①)
 - 一般部の走行性・安全性の確保や、最適な道路ネットワークを形成するため、地表式を基本とする。
 - 地域の幹線交通を担う路線は、交差点により一般部に接続し、沿線地域の生活道路となっている路線は、副道を介して一般部に接続する。
 - 鉄道との交差箇所は、立体交差(高架又は地下構造)とする。
- 鎌ヶ谷市から国道16号間の約6kmについて(整備イメージ②)
 - 鎌ヶ谷消防署前交差点(県道船橋我孫子線交差点)において、整備済みの一般国道464号に接続する。

■横断構成

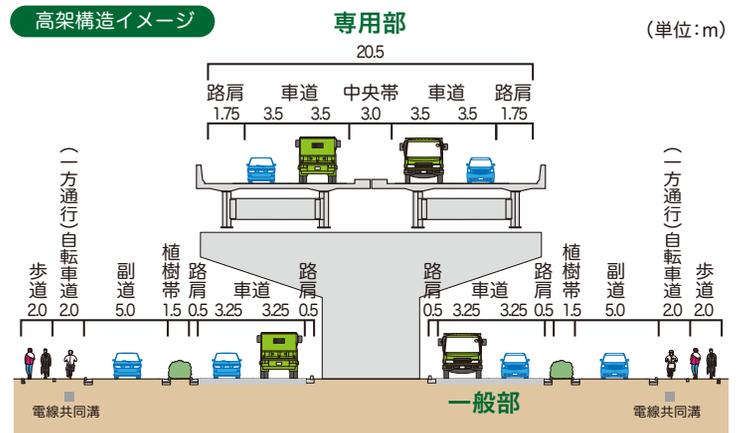
- 外環から鎌ヶ谷市間の約9kmについて(整備イメージ①)
 - 中央に専用部、両側に一般部を配置することを基本とし、必要な用地をできる限り小さくするよう計画する。
 - 一般部の外側に、植樹帯、副道、自転車道、歩道、電線共同溝を基本とし、必要のないところには設置しない。
 - 自転車道は、道路の両側に一方通行の形態を基本とする。
 - 歩行者等の横断は、交差点での平面横断(横断歩道)を基本とし、必要に応じて、立体横断施設を計画する。
 - 沿道環境を保全するため、必要に応じて、遮音壁や環境施設帯を計画する。
- 鎌ヶ谷市から国道16号間の約6kmについて(整備イメージ②)

■連結位置・構造

- 連結位置・構造については、接続する外環の連結位置間隔が3~4kmのハーフIC構造であること等を踏まえつつ、最適な道路ネットワークの形成や構造基準、安全性、周辺土地利用状況や料金収入と償還計画等を総合的に勘案して計画する。

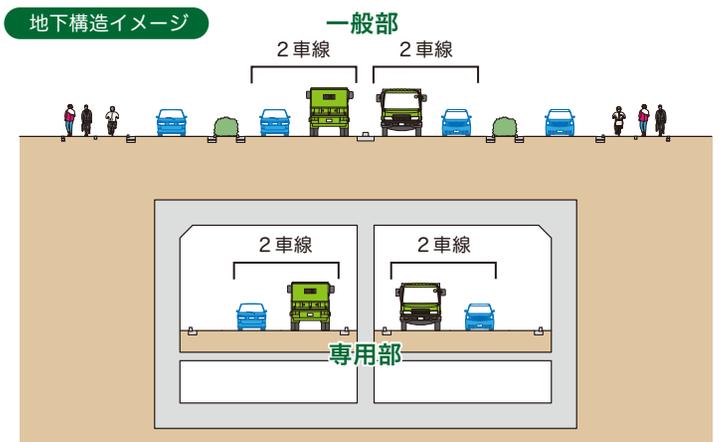


整備イメージ①(外環から鎌ヶ谷市間)



※各幅員は、構造基準上の最小値を参考として記載しているもの。

地下構造イメージ



整備イメージ②(鎌ヶ谷市から国道16号間)



北千葉道路とは？

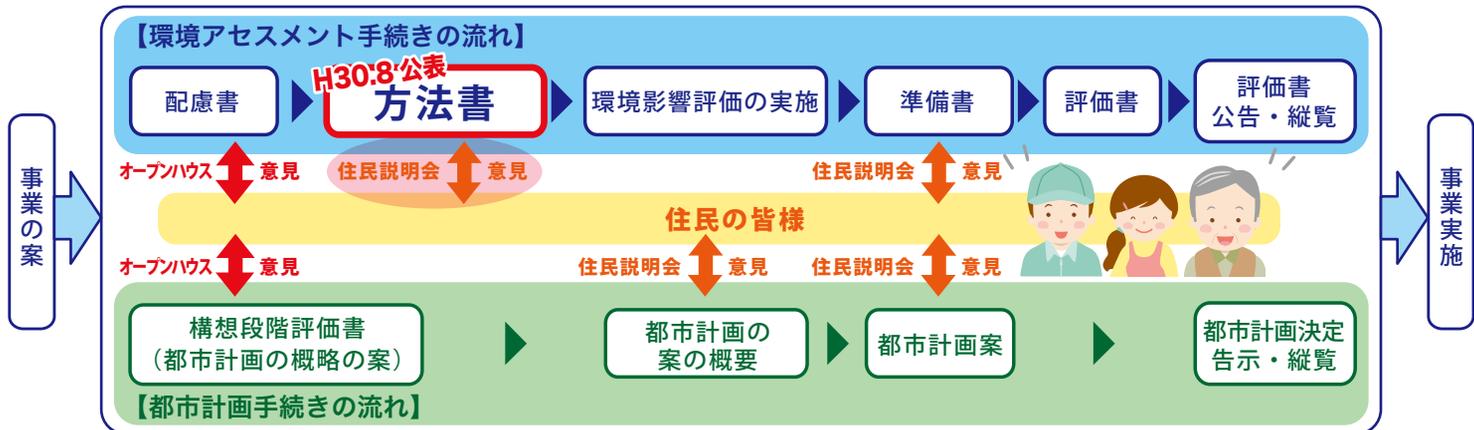
- ・一般国道464号北千葉道路は、市川市と成田市を結ぶ全長約43kmの道路です。
- ・東葛地域、北総地域の東西方向の骨格となる道路であり、首都圏北部、千葉ニュータウン、成田空港を結ぶことにより、国際競争力の強化を図るとともに、地域間の交流連携、物流の効率化等、地域の活性化に寄与することが期待されます。
- ・現在、市川市から船橋市間の約15kmの事業化に向けて、千葉県※が環境アセスメントと都市計画変更手続きを実施しています。

※都市計画手続きに併せて、環境アセスメント手続きを行うため、環境影響評価法の規定により、都市計画決定権者である千葉県が手続きを実施。



方法書説明会の開催結果

平成30年8月に公表した環境影響評価方法書(方法書)の内容をご説明するため、8月下旬から9月上旬にかけて沿線市において方法書説明会を開催し、約150名の方にご来場いただきました。多数の皆さまにご来場いただき、ありがとうございました。



※手続きの流れは事業の規模により異なる場合があります。住民のほかにより市町村長、知事、国土交通大臣等の意見を聴取します。

皆さまからは、このようなご意見をいただきました。(意見の一部を抜粋)

●環境影響評価に関する意見の例

- ・生活環境(騒音や振動など)への影響が心配だ。
- ・景観にも配慮してもらいたい。



●その他の意見の例

- ・北千葉道路の位置や構造を知りたい。
- ・周辺道路の渋滞緩和のため早く整備してもらいたい。



- ・手続きにかかる期間や、事業化、完成の時期はいつか。
- ・広く住民に周知されるよう丁寧な広報活動を行ってほしい。



開催状況(平成30年8月29日 市川市・道の駅いちかわ)

連絡調整会議等の会議資料や、これまでに公表した方法書等の図書、北千葉道路だより(第1号～第4号)は、千葉県HPでご覧いただけます。

北千葉道路広報ワーキンググループ

- 目的: 北千葉道路(市川市～白井市)の検討状況等に関する広報活動等を実施
- 構成員: 千葉県、市川市、松戸市、鎌ヶ谷市、船橋市、白井市
- 問合せ先(事務局): 千葉県 県土整備部 道路計画課 外環道・北千葉道路班 TEL: 043-223-3124



北千葉道路(市川市から船橋市間)の現在の検討状況等を知っていただくため、パネル展示等によるオープンハウスを開催します

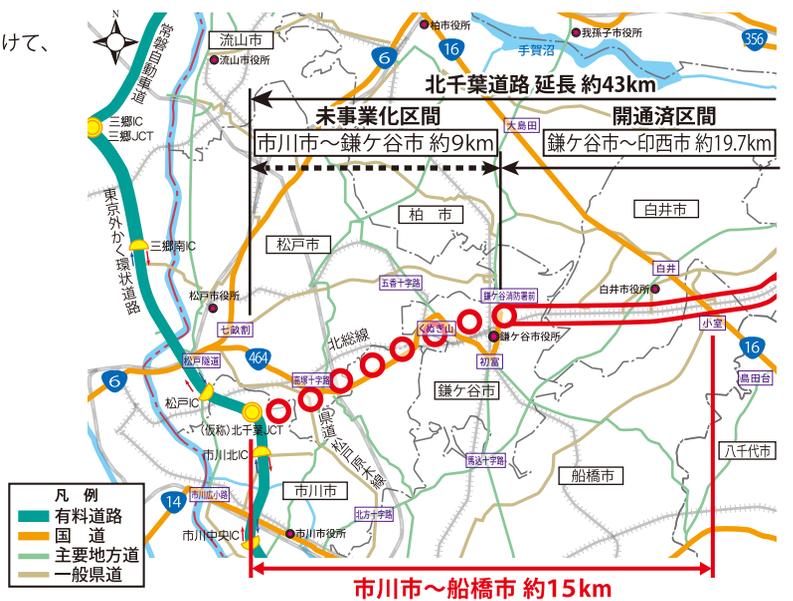
第3回オープンハウスの開催について

- ・現在の検討状況や環境アセスメント手続きの状況などについて、パネル展示などにより、ご説明するオープンハウスを開催しますので、ぜひご来場ください。
- ・会場では、担当スタッフがパネルの説明や、皆さまからのご質問にお答えします。どの会場も内容は同じですので、ご都合のよい日時、場所にどうぞお気軽にお立ち寄りください。

■最新の検討状況は？

- ・北千葉道路の外環(市川市)から国道16号(船橋市)について、平成30年11月5日に第8回北千葉道路連絡調整会議※を開催し、計画の考え方(専用部・一般部の基本構造、横断構成、連結位置・構造等)を検討しました。

※北千葉道路連絡調整会議：
国・県・沿線市で構成され、北千葉道路の計画策定に向けて、検討・協議・調整を実施。



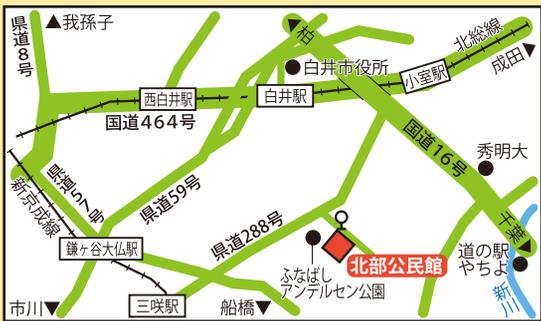
オープンハウスとは？

・オープンハウスは、パネル展示等により情報をお伝えする場所です。



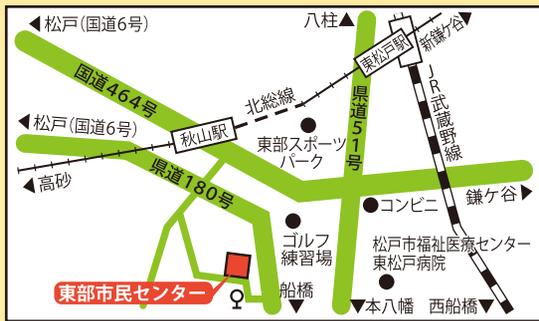
開催状況(平成30年1月28日 松戸市:東部スポーツパーク)
※担当スタッフが対応できるまでにお時間をいただく場合がございますので予めご了承下さい。

2月1日(金)、2日(土) 10:00~16:00
船橋市 北部公民館



- 交通/新京成線三咲駅より新京成バス「セコメディック病院行」乗車「アンデルセン公園」下車 徒歩約1分
- 住所/船橋市豊富町4
- お車で越しの方/施設駐車場には限り(30台)があります。

2月3日(日)、4日(月) 10:00~16:00
松戸市 東部市民センター



- 交通/松戸駅より松戸新京成バス「梨香台団地經由市立東松戸病院行」乗車「梨香台団地」下車 徒歩約1分
- 住所/松戸市高塚新田494番地の9
- お車で越しの方/施設駐車場には限り(10台)があります。

2月8日(金)、9日(土) 10:00~16:00
白井市役所 東庁舎



- 交通/北総線白井駅 徒歩約15分
白井駅より白井市循環バスナッシー号「白井市役所」下車、ちばレインボーバス「白井市役所」下車、生活バスちばこう「白井市役所」下車、徒歩約5分
- 住所/白井市役1123
- お車で越しの方/施設駐車場をご利用ください。

2月11日(月・祝) 10:00~16:00
市川市 道の駅いちかわ



- 交通/市川駅より京成バス「市43」北国分行、「市44」聖徳学園行、「松51」「松51-2」「松54」「松55」松戸駅行 乗車「道の駅いちかわ」下車 徒歩約5分
- 住所/市川市国分6-10-1
- お車で越しの方/施設駐車場をご利用ください。

2月12日(火) 10:00~16:00
市川市 大町会館



- 交通/北総線松飛台駅 徒歩約15分、本八幡駅・市川大野駅より京成バス「大町駅行」乗車「大町公民館」下車 徒歩約5分
- 住所/市川市大町273
- お車で越しの方/施設駐車場をご利用ください。

2月15日(金)、16日(土) 10:00~16:00
鎌ヶ谷市 中央公民館



- 交通/新京成線 初富駅 徒歩約3分、北総線・成田スカイアクセス線/新京成線/東武アーバンパークライン 新鎌ヶ谷駅 徒歩約15分
- 住所/鎌ヶ谷市富岡1-1-3
- お車で越しの方/施設駐車場をご利用ください。

北千葉道路とは？

- ・一般国道464号北千葉道路は、市川市と成田市を結ぶ全長約43kmの道路です。
- ・東葛地域、北総地域の東西方向の骨格となる道路であり、首都圏北部、千葉ニュータウン、成田空港を結ぶことにより、国際競争力の強化を図るとともに、地域間の交流連携、物流の効率化等、地域の活性化に寄与することが期待されます。
- ・現在、市川市から船橋市間の約15kmの事業化に向けて、千葉県※が環境アセスメントと都市計画変更手続きを実施しています。

※都市計画手続きに併せて、環境アセスメント手続きを行うため、環境影響評価法の規定により、都市計画決定権者である千葉県が手続きを実施。



環境アセスメント・都市計画変更手続きを行う区間 (市川市～船橋市 約15km)

平成31年1月より、環境影響評価に着手しました。

平成30年8月に公表した環境影響評価方法書(方法書)に対していただいた住民の皆様や関係市長、知事の意見などを踏まえて、平成31年1月より現地調査に着手しました。大気環境や水環境、自然環境などの計16項目について、環境影響評価(調査・予測・評価)を行います。お近くの道路や公園、樹林地などにおいて現地調査を行いますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



※手続きの流れは事業の規模により異なる場合があります。 ※住民のほかに市町村長、知事、国土交通大臣等の意見を聴取します。

■環境影響評価とは？

調査 予測・評価をするために必要な地域の環境情報を収集するため、既存資料の収集整理や、現地での調査を行います。



予測 事業を実施した結果、環境がどのように変化するか予測します。



評価 事業を行った場合の環境への影響について検討します。



連絡調整会議等の会議資料や、これまでに公表した方法書等の図書、北千葉道路だより(第1号～第5号)は、千葉県HPでご覧いただけます。

北千葉道路広報ワーキンググループ

- 目的：北千葉道路(市川市～白井市)の検討状況等に関する広報活動等を実施
- 構成員：千葉県、市川市、松戸市、鎌ヶ谷市、船橋市、白井市
- 問合せ先(事務局)：千葉県 県土整備部 道路計画課 外環道・北千葉道路班 TEL：043-223-3124

